

# 「小規模工事登録制度」の導入を

山田町長／現段階では考えていない

**畑中** 不況が続く中で、仕事が大いに減少した、小規模事業者への受注機会を増やす施策として「小規模工事登録制度」をつくるべきではありませんか。

**町長** 現在においても、町営住宅の

補修工事や道路・河川等の規模の小さい維持補修工事については、建設業者として登録していない小規模業者やシルバー人材センターの活用をはかっていますので、新たに「小規模工事登録制度」を導入する考えはありません。



除草作業をする  
シルバー人材センターのみなさん(中央台)

# 副町長不在で町政執行に支障はないか

山田町長／町一丸となった対応を

渡辺 久長 議員

**渡辺** 地方自治法において副町長を置くこと規定されています。

現下の極めて厳しい社会情勢の中で当町においては今年4月より副町長が不在の状況がありますが、町政執行に支障はありませんか。

また、雇用情勢や経済情勢が悪化する中で、少子高齢化にじん速かつ的確に対応するためにも、早急に副町長を選任すべきではないですか。

**町長** 町政を取り巻く厳しい社会情勢や財政状況の中、行政課題に迅速かつ的確に対応することが求められており、町政の停滞は1日たりとも許されるものではありません。

私をはじめ課長等が一丸となって対応していますので、影響は少ないものと考えています。

副町長は町長の補助機関として地方自治法等に規定されており、その必要性については十分理解をしていますので、時期を見て選任したいと考えています。



まちに待ったプールの季節 (広野小学校)

# 予防接種の充実をはかれ

山田町長／前向きに検討

**畑中** 細菌性髄膜炎を予防するため5歳未満までに接種するインフルエンザ菌b型ヒブワクチンと子宮頸がんを予防するため10歳代に接種するワクチンには多額の費用がかかりますので、町民の健康保持の観点から助成すべきではないですか。

**町長** 当該ワクチンは予防接種法で任意接種となっており、厚生労働省において予防接種制度の見直しに向け議論が始まっています。今後は国の動向に留意しながら病気予防の観点から助成について前向きに検討します。



畑中 大子 議員

# デジタル放送難視聴区域の実態把握は

山田町長／難視聴区域の解消に努力

**畑中** アナログ放送停止まで1年余りとなりませんが、町内におけるデジタル対応テレビ等への更新状況と難視聴区域の把握のための調査をしていますか。

中です。平成23年7月24日になってテレビが見られない家庭が出ないよう、町内電気店などの協力を得ながらデジタル化への情報提供に努めます。

また、デジタル用テレビに更新しないため、平成23年7月24日以降テレビが見れない世帯が発生した場合は町としてどのように対応しますか。

**町長** デジタルテレビ等への更新状況と難視聴区域の調査はしていませんが、難視聴で届出のあった2団体は国の補助を受けて難視聴解消に向け協議

# 「滞納整理課」を新設せよ

山田町長／全庁を上げて滞納整理に取り組む

**渡辺** 財政状況が年々厳しくなる中で、町税等の滞納額が平成20年度決算において2億円を越えている状況にあります。納税者の税負担の公平性と町財源の確保の観点からも滞納整理事務を一括して担当する「滞納整理課」を新設すべきではないですか。

**町長** 厳しい財政状況の下、職員定数の削減により「滞納整理課」の新設は難しい状況ですので、全庁を上げて滞納整理に取り組みます。